

「Yahoo!ニュース 特集」連載企画が初の書籍化 個人史から平成を振り返る連載『「わたし」と平成』を加筆した書籍を刊行

～ プリクラの開発者、老舗喫茶店主などさまざまな個人のストーリーから 「平成とはどんな時代だったか」を振り返る ～

ヤフー株式会社は、「Yahoo!ニュース 特集」の連載企画を大幅加筆した書籍『「わたし」と平成 激動の時代の片隅で』を3月26日にフィルムアート社より刊行します。本書籍は「Yahoo!ニュース 特集」として、初の書籍化となります。

「Yahoo!ニュース 特集」は、2018年12月29日から2019年1月10日にかけて、『「わたし」と平成』を計7回連載しました。平成時代が幕を閉じようとする中で、有名無名を問わず、この30年を生きたさまざまな人物に焦点を当て、「平成とはどんな時代だったか」を振り返る連載です。登場するのは、プリクラの開発者、新橋の靴磨き、戦争の語り部、阪神・淡路大震災の遺児、老舗喫茶店主、離島の灯台守、ホストクラブ経営者、遺品整理業、94歳の現役助産師、救命救急士などの30人です。年齢も住む場所も職業もバラバラの30人が、何を思い、何を糧にしてきたのか、そうした個人の「肉声」に耳を傾け、埋もれがちな個人史をすくい上げることで、平成という一時代の終わりとその先を見つめる内容です。

「Yahoo!ニュース 特集」は、ネットニュースの消費サイクルが早くなり情報が断片化している中、一定のテーマについて丁寧に掘り下げ、長く読まれるストック型の記事作りを目指しています。『「わたし」と平成』もその趣旨のもと制作し、平成という時代の記録をより長く読まれるものにしたいという思いから、「Yahoo!ニュース 特集」での連載内容に大幅に加筆し、『「わたし」と平成 激動の時代の片隅で』の書籍刊行に至りました。

また、書籍では、連載に登場した30人に加え、作家の朝井リョウ氏、ミュージシャンのDOZAN11（元・三木道三）氏、映画監督・作家の森達也氏の特別インタビューも掲載しています。

【書籍概要】

Yahoo!ニュース 特集編集部／高田昌幸=編

四六判・並製 | 288頁 | 定価：1,600円+税 | ISBN 978-4-8459-1828-7

[書籍概要ページ](#) (外部リンク)

「わたし」と平成 激動の時代の片隅で

Yahoo!ニュース 特集編集部／高田昌幸 編



YAHOO!
JAPAN ニュース 人気企画、待望の書籍化!

プリクラの開発者、新橋の靴磨き、戦争の語り部、
被災者、老舗喫茶店主、離島の灯台守、ホストクラブ経営者、
遺品整理業、94歳の現役助産師、救急救命士……

30人の語るそれぞれの30年を通じて、
平成という一時代の
終わりとその先を見つめる。 フィルムアート社

朝井リョウ、DOZAN11(元・三木蓮三)、森達也の特別インタビュー掲載。

【プロフィール】

[編] Yahoo!ニュース 特集編集部

「Yahoo!ニュース 特集」は、ヤフーが独自の取材記事を掲載するメディアとして2015年にスタート。政治・社会や生活・文化など幅広い分野で、速報性より詳報性を重視した取材記事やインタビューを掲載している。記事は月間約150億のページビューがある「Yahoo!ニュース」を通じて広く読まれ、大きな話題になることも多い。

[編] 高田昌幸（たかだ・まさゆき）

1960年生まれ。法政大学卒業後、1986年に北海道新聞社入社。経済部、東京政治経済部などを経て、報道本部次長、ロンドン支局長を務める。2011年に退社。フリージャーナリストを経て、2012年から高知新聞記者。北海道新聞時代の1996年、「北海道庁の公費乱用」報道の取材班メンバーとして新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞奨励賞を受賞。2004年に「北海道警察の裏金問題」報道の取材班代表として新聞協会賞、菊池寛賞、JCJ大賞などを受賞。著書・共著に『権力vs.調査報道』『希望』（以上、旬報社）、『真実——新聞が警察に跪いた日』（角川文庫）、『@Fukushima——私たちの望むものは』『メディアの罠』（以上、産学社）など。2017年4月より東京都市大学メディア情報学部教授。「Yahoo!ニュース 特集」では編集アドバイザーを務める。